

## バドミントン部 高体連春の大会結果報告

### 男子団体戦ベスト16

第67回春季バドミントン競技会（大阪高体連主催）は、4月28日(日)から大阪府立臨海スポーツセンターなどで開催され、男子団体戦・男子シングルス（Ⅰ部・Ⅱ部）・ダブルスに出場した。

団体戦は新入部員2名を含む5名体制で出場した。ベスト8となった昨夏の大会から卒業などで2名がぬけたため、戦力に不安があったが、1年生ペアが勝利をおさめるなど活躍した結果、2回戦を突破することができた。残念ながら昨夏の成績を超えることができなかったが、今後練習を積み夏の大会には上位をめざしてがんばりたいと改めて心に誓った。

### ダブルスⅡ部でもベスト16

男子ダブルスⅡ部には、1年生を含め2つのペア4人が出場した。このうち、上山大翔（高槻市立五領中学校出身）・吉永拓未（尼崎市立常陽中学校出身）組は5回戦に進出した。5回戦の吹田高校との試合では、ファーストゲームをとり、セカンドゲームもリードしていたが、体力勝負に敗れゲームカウント1-2で惜敗した。結果はベスト16だった。（全188ペア出場）

### シングルスⅡ部では4回戦に進出

男子シングルスⅡ部には本校から新入部員を含めた3名が出場した。うち、2年生の吉永拓未は、体調がベストではなく、2・3回戦はファイナルゲームまでもつれ込むという接戦となったが、これに粘り強く対応し3回戦を突破した。5日後に開かれた4回戦では実力の差を見せつけられて敗れたが、府下ベスト64となった。（全408人出場）

### 女子部員も入部、部員数11名に

3月に最後の女子部員が卒業して、女子部員ゼロが続いていましたが、4～5月にかけて女子が4名入部、現在部員数は11名となりました。まだまだ少ない人数ですが1つでもたくさん試合に勝てるよう日々練習に励んでいます。

## 北摂高等学校大会(団体戦)でベスト16

北摂高等学校バドミントン大会は、高槻市高等学校バドミントン協会主催で、淀川以北の高等学校が参加する大会です。今年度は高体連春の大会が6月にまでずれ込んだため、時間短縮のため2ダブルス1シングルス(予選リーグは15点のショートゲーム、決勝トーナメントは正式試合)で行われました。

予選リーグでは、春日丘高校、豊中高校Bチーム、北野高校Cチーム同じグループで試合を行い、2勝1敗で2位となって決勝トーナメントへ進出しました。

決勝トーナメント1回戦では千里高校と対戦、第1ダブルスのファーストゲームを12-21で落としヒヤリとする場面もありましたが、セカンド・ファイナルゲームをそれぞれ21-12, 21-14と取ってなんとか勝つことができました。また第1シングルスも逆点、逆点の繰り返しでしたが、ゲームカウント2-0で勝利を収めました。

決勝トーナメント2回戦は昨年度優勝校の強豪吹田高校と対戦、第1ダブルスと第2ダブルスを入れ替えて臨みました。結果は強豪の実力を見せつけられ第1ダブルス・第1シングルスとも0-2のストレート負け、本大会もベスト16で終わりました。

ベスト16からベスト8への壁は厚く、今後しっかりと練習をして臨むことが肝要であることを思い知らされた大会でした。